令和７年度　神戸校区タウンミーティング　発言要旨

【日　時】 令和７年12月18日(木)19:00～20:30
【場　所】 神戸公民館　２階　ホール
【参加者】 地域:19人(連合自治会長ほか)
　　市　:市長、副市長、教育長、教育委員会事務局長、神戸公民館長(司会)
【テーマ】 現神戸公民館の建物の活用について

R7.12.18　当日の発言内容

■参加者
・現在神戸公民館は、小学校との複合化に向けて工事中である。現公民館が廃止になった場合、神戸校区内の公共施設が一点に集中する。他校区は、2、3つ以上の公共施設があるところが多い。
・高齢者等が公共施設を拠点としてボランティアなどでいきいきと活躍できる場があればいいと思う。

●教育委員会事務局長
・現公民館について、地域の方には建設委員会等を通じて新公民館の運用開始後に除却する旨の説明を行ってきた。
・現公民館の利活用について、教育委員会及び全庁的に調査を実施したところ、希望がなかったことから、公共施設としての利用は考えていない。
・新公民館と神戸小学校における長寿命化事業は、公共施設等適正管理推進事業債を財源にしており、借り入れ条件として、公共施設の総床面積の減少が必須となっている。公民館の建設にあたっては国の補助がなく、こういった財源で事業費を賄う必要がある。神戸小学校では、長寿命化工事についても借り入れを充てている。公民館で約２億7千万円、学校で約５億９千万円、合計約８億６千万円の借り入れを予定している。
・現公民館を行政施設として利用する場合には、前提条件が崩れ、借入部分の事業費が不足し、現実的に事業を進めていくことが困難となる。
・今回、庁内で改めて公民館の利活用について確認したが、手が挙がらなかった。引き続き活用していきたいというお気持ちはわかるが、現公民館を公共施設として利用するのは非常に困難であることをご理解いただきたい。
・学校施設と公民館施設の一体化という初の取り組みを神戸から発信し、学びの拠点として子どもたちと地域の方が触れ合える、新しい地域教育を目指していきたいので、ご理解いただきたい。

■参加者
・先人の思いがあってこの場所に公民館が建っている。土地利用確保の考えがあってもいいのではないか。
・東光と山道自治会は、現公民館があったことから集会所を作らなかったので、なくなってしまうと自治会活動に支障が出てしまう。今後は、新公民館の方に行けばよいということだが、集会所の意味を理解されていないのではないか。

・さらに、公民館は、神戸全体のリサイクルごみのステーションになっている。また、防災倉庫を間借りしているので他に見つける必要がある。防火用水池も設置されている。
・西条祭りの際には、3部落が神楽所として公民館の敷地を利用している。
・合併前に西条市の地域調査により「西条市の地域」という本を作成し、社会福祉協議会に寄付している。本の巻末に市職員は協力的でよかったと書かれているが、現在はそうではないように感じる。
・集会所機能や防災関連施設として、何らかの形でこの施設を活用できるようにしてほしい。
・小学校の避難所は、平成16年災害時に膝まで浸かったことがあるので、大雨や洪水の際は使用できない。避難所として残しておくべきである。

■参加者
・長寿命化工事に伴う費用について、現公民館に消防分団や青少年センターを呼んでくることも難しいのか。

●事務局長
・公共施設等適正管理推進事業債（公適債）を活用するためには、公共施設の総床面積を減らす必要があり、青少年センターを移転した場合、元の施設を除却する必要がある。ただ、青少年センターには橘の消防団も併設されていると思うので、床面積を減少させることは難しいように思う。
・消防に確認したところ、消防団詰所を移設する意向はないという回答だったので、意見を尊重している。

■参加者
・ここに集会所を建設すると公共施設の一環となるのか。

●事務局長
・集会所の多くは地元の方が建設されている。
・他の助成制度を活用して、半分を助成、残りの半分を地域が負担して建設されている場合が多い。

■参加者
・行政としては更地にする考えであるか。

●事務局長
・民間企業等からの希望がなければ除却予定である。

■参加者
・当初は、近隣の独立施設が互いの利用向上を目的として複合化が提案されてきたが、神戸地区には、公民館以外に公共施設が全くない。
・公民館機能の移設後、公共施設を建設できないということだが、地元としては撤去後にコミュニケーションを図ることができるような公園を設置してほしい。
・松山市には一つの地区に公園が2つもあり、遊具やストレッチ、ゲートボールができる。神戸グラウンドは子連れで遊べるような場所ではないので、小さい子どもを連れた保護者や高齢者がコミュニケーションを取

れるような場所を神戸にもつくってほしい。
・この場所を競売にかけて、建設機械や廃材の置き場になるようなことは避けたい。
・公園にすればトイレが必要だが、費用負担は少ない。除草は近隣自治会等がやればよいと思うので、検討いただきたい。

■参加者
・この場所をこのまま残してほしい。
・今朝の愛媛新聞の記事で、大分県佐賀関の火災について、延焼防止として数値で検証された内容が掲載されている。焼け残ったところには、空き地や堅牢な建物があった。
・西条市では、燧灘風が上向いて吹くので、空き家や木造の家から飛び火が出て火災が発生する可能性が高い。避難場所として現公民館の場所が適しているので、空き地や公園、避難場所として利用したい。
・14 日に開催された防災講演会での説明では、現公民館の収容人員が 127 人、また駐車場を含めてだとは思うが、収容人数が約 400 人ということであった。これは、限られた地域の人でも収容できるということだと解釈している。
・松山市平田町の公民館は現在分館として残っており、人は常駐していないが地元の人が利用できるようだ。
・市外の友人が西条市に来た時に、考古歴史館と禎瑞の龍神社を案内する。海抜 0mから石鎚山の標高 1982mまで直線距離が 30km。海から山まで完全に見える場所は、北海道七飯(ななえ)町と西条市の2か所だと思う。神戸地域にトレッキングやウォーキングをしたいという人向けに起点となる施設ができると思う。5年間の猶予があるので、検討していただきたい。
・健康を維持するための施設として活用いただきたい。

●事務局長
・公民館の分館については、所有者が地域であるか市であるかで変わってくると思う。
・全国的には地元に施設を払い下げることもあるようだが、自治会への所有権の移転が必要になると思う。所管課に確認いただけたらと思う。
・オープンスペースや公園の所管は都市計画課になるので、意見をお伝えしておく。
・避難所に関して、検討委員会や建設委員会で意見をいただいており、新公民館の方では、男女別、多目的トイレやマンホールトイレの設置を計画している。避難所機能としては、新公民館の方が整備されると考える。
・ごみステーションについては、市の土地である限り移転は考えていない。市の所有でなくなる場合は、衛生課等関係部署と協議の上、適地を探すことになると思う。
・防災倉庫について危機管理課に確認したところ、ハザードマップではこのエリアは浸水区域であり、また現公民館前の道が狭いため、場所としては適していないという回答であった。
・貯水槽について消防に確認したところ、市の施設である限りはそのままでかまわないが、何らかの理由で除却が必要な場合は、除却してかまわないということだった。

●副市長
・神楽所についても、市の土地である間は使用していただける。

●事務局長
・建物がある以上維持管理費が必要である。現公民館は、年間約 100 万円の電気代がかかっている。その他諸費用もある。その費用を新公民館の事業等に充てる方がいいのではないかと思う。

■参加者
・この公民館は、社会教育法に基づき建設していると思う。また、補助金は活用しているのか。

●事務局長
・おそらく補助金は活用していない。

■参加者
・北海道北見市では、財政再建のため公民館を廃止したようだが、地元の高齢者が、コミュニケーションの場がなくなることを危惧していた。北見市では、公民館機能を維持するために市民の声をよく聞き、地域と行政が協力して成功に導いたようだ。外部の風を入れ、漫才協会とタイアップしている。
・地域の活性化の拠点がここだと思っている。神戸校区にも公民館以外にそういった施設があった方がいいのではないかと思う。
・地域のイベントを開催できる場や学び成長できる場、可能であれば地域に開かれた施設の確保をお願いしたい。地域活動、子育ての支援を行う地域の活動拠点として活用することを提案したい。
・神戸校区の防災組織は、活発に活動している。資機材についても、市の補助金を活用しながら充実を図ってきた。12月1日には「愛媛自主防災フォーラム」で受賞される。しかし、実際に災害が発生したら十分な対応ができないと思う。
・専門家が常に最後に言う言葉は、「コミュニティの構築の強化」である。コミュニティの構築と強化が重要だができていないというのが実態なので、コミュニティを生かした防災拠点として現公民館を残してほしい。
・東日本大震災や能登半島地震など大災害の時に犠牲者を出さなかった自治会は、人間関係の構築がしっかりできていた。
・地域や西条市から「一人の犠牲者も出さない」をキーワードに進めていきたいと思う。防災だけでなく様々な場において構築ができていないと思うので、「コミュニティの構築」をテーマに取り組んでいただきたい。
・平成20年頃、適正化法で公民館設置運営に関する通達が多く出ている。公民館の分館についても書かれており、公民館の廃止等も緩和されていると思うので、上手く活用してほしい。ハングリー精神、したたかさを持ってがんばってほしい。
・行政は法律を守る必要があると思うが、民間企業であればもう少し考え検討するのではないかと思う。

●事務局長
・防災の関係で、コミュニティ意識の問題は非常に重要である。学校と公民館の複合化を契機に防災についても子どもたちに教えてあげてほしい。
・補助金適正化法については、詳細は定かではないが、補助金の目的外使用の場合は返還が必要だが、分館のような形であれば返還不要だと思う。

●公民館
・答えられなかった質問については、また市から回答していただきたいと思う。

●市長
・皆さんの熱意はよく伝わった。
・今後のことについて今すぐには回答できないが、除却や市から払い下げて地域に活用いただくのも一つの方法だと思う。
・全国的に公共施設を減少させる流れになっており、西条市もそのことに取り組んでいる。
・西条市では、被害者数が数千人に及ぶとの想定が示されていることから、防災に特に力を入れていきたいと考えている。例えば、東予港は四国の防災拠点港となっている。
・神戸校区には国道 194 号が通っていることから、様々な役割を担っていただけるポテンシャルがあると思うので、コミュニティを維持発展していただきたい。
・現公民館の利活用についてはまだ可能性はあると思っている。

●事務局長
・所有権を移転する形であれば可能である。何かあれば早めに相談いただきたい。

●副市長
・防災面でコミュニティは非常に大事である。佐賀関の火災では、住民同士の声かけがあったことで避難できたようだ。
・神戸校区の活動は進んでいると思うので、西条市全体に浸透させていきたいと考えている。
・防災士の方から自助が重要であると聞いた。その次に、共助である。
・自治会の加入が減少し人間関係が希薄になっているが、コミュニティの構築について、市でも考えていきたい。

●教育長
・複合化の話を地元で伺うことは今回が初めてで申し訳ないとともに、地域の皆さんの熱意に感銘を受けている。
・学校側は複合化を楽しみにしているようだ。期待しているので、地域の中で大切に育てていただければと思っている。教育委員会としても協力させていただきたい。

●公民館
・要望等については地域と市が一緒に考えていけるようにしていきたいので、地域の皆様にもお願いしたい。

■参加者
・神戸校区の人口は約 3,300 人と、西条市内では平均的だが、公共施設が一つになることを危惧している。
・複合化を提案されたときに示された施設面積が狭かった。2 階建てにしてホールや研修室等を作ってほしい旨の要望・提案をしたが、反映されなかった。収納スペースは少し拡げてもらえた。

・地域への払い下げについては、維持管理費が問題となるため、市の施設として利用したい。
・新公民館１階の共有部分に放課後児童クラブがあるが、休みとなる土日祝の利用については、地域で責任を持つよう学校から言われている。そういった中で運営が上手くいくのだろうか。
・市では、中心市街地に人を集めて地域の活性化を図っているが、郊外の地域が過疎してしまう。
・公共施設の数が減るほど地域も弱る。現公民館を老人が元気に、若者が集うような施設にしてほしい。
・できないものをできるようにしてほしい。

■参加者
・愛着もあり地域の皆さんの意見を尊重すべきだが、新公民館施設を利用していきたいと考えている。
・今治市では、開校 10 周年の学校があり西条市より一歩進んでいる。
・地域の子どもから給食が美味しくないと言われる。不登校児童が少しでも学校に行きたくなるようモチベーションを上げるためにも検討してほしい。個人的にはそういった部分にお金をかけていただきたい。

●市長
・全国市長会でも給食費の無償化をこれまで要望してきている。
・東部給食センターの運営が開始されて半年なので、今後も注視していきたい。必要に応じ業者にも伝えていく。
・西部給食センターのこともあるので東部をしっかりやっていく必要がある。

■参加者
・ぜひサイモン（西条産サーモン）を食べさせてほしい。

●市長
・神拝小のみだったと思うので伝えておく。